

# E

lementary school

## 80メートルハードルで大会新記録

野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭は9月15日、町運動公園陸上競技場で開かれ、町内5小学校の児童ら約150人が全力で競技に取り組みました。

男子100メートル走、男子80メートルハードル、男子4×100メートルリレーでも優勝するなど、三冠に輝いた新田峻介さん(猪苗代小6年)は「お兄ちゃんの大会記録を破れたのがうれしい。ほかの学校にも早い子がいたので、優勝できてよかったです。19年にお兄ちゃんが三冠を達成していたので、自分も達成できてよかったです」と大会を振り返りました。

児童たちは日ごろの練習の成果を発揮し、自己ベストを目指して競技に取り組みました。また、自分の種目以外の時も休むことなく、応援に来た保護者らと一緒に競技中の児童を応援し、友情を深めました。



写真上 学校の名誉をかけ、チームが一丸となって戦ったリレー競技  
写真下 男子100メートル走、男子80メートルハードル、男子リレーと3冠を達成した猪苗代小学校の新田さん

# H

igh school

## 猪高生らが無事故を訴える

秋の全国交通安全運動がスタートした9月21日、交通関係団体会員、猪苗代警察署員と交通安全広報・啓発要員に委嘱されている猪苗代高の生徒15人が、国道49号線沿いで啓発活動をしました。この活動は、県下一斉の広報啓発作戦(セーフティ・ウェーブ作戦)の一環として、猪苗代警察署が企画したものです。

生徒たちは「秋の全国交通安全運動実施中!!」と1人1文字ずつ書かれた看板を掲げ、ドライバーに安全運転を呼び掛けました。

生徒会役員として活動に参加した生徒会長の林文婷さんは「今日、町内で事故があったと聞き、みんな残念に思っていました。これ以上交通事故が起きないように願って街頭に立ちます」と話しました。猪高生らは、雨で中止になった翁島小学校の児童による鼓笛パレードの分も頑張ろうと街頭に立ち続けました。



写真上 世界のガラス館前に15人の生徒が並び、ドライバーに安全運転を呼び掛けました  
写真下 これ以上交通事故が起これないように願いを込めたという林生徒会長

# スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO

# J

unior high school

## 東中合唱部が東北大会出場

TBC・TUFこども音楽コンクール東北大会に出場する東中学校特設合唱部の生徒らは9月29日、出場報告のため、町役場を訪れました。

同校合唱部は、9月5日に須賀川市で開かれた同コンクール郡山地区大会で優秀賞に選ばれ、10月16、17日の両日、宮城県名取市で開かれる東北大会への出場を決めました。

合唱部部長の遠藤真由さんが「36人全員が一丸となって、東中合唱部らしく歌い、観客に感動を与えたい」副部長の佐藤百恵さんは「昼休みだけの練習でも、集中して頑張ってきた。本番では、楽しみながら歌いたい」と笑顔で抱負を述べました。

津金町長は「皆さんの活躍は一人一人の努力のたまもの。町民の誇りです。東北大会でも練習の成果を発揮して良い成績を残してください」と激励しました。



写真上 「特設部でありながら、非常にまとまっている。大規模校にも負けない」と話す中村幸裕校長(右端)  
写真下 東北大会出場への決意を語った遠藤真由さん(左)と佐藤百恵さん(右)

# N

ursery school

## 会場に親子の笑顔あふれる

町内3保育所の運動会は9月18日、各保育所で開かれました。川桁保育所では、綱引き、紅白玉入れ、リレーなどの団体競技のほか、親子競技、リズム体操や白虎隊の演舞などに取り組みしました。

親子競技で楽しそうにはじける笑顔、かけっこを頑張る真剣な顔や一等賞のリボンを誇らしげに自慢する顔など、子どもたちはいろいろな表情を見せてくれます。そんな子どもたちを保護者らは温かく見守り、盛んな声援を送りました。

観賞用と撮影用に2回踊る川桁保育所の白虎隊では、子どもたちの成長に感動した保護者らが、ビデオカメラに向けたま涙ぐむ姿も見られました。

子どもたちの一番の楽しみは、やはりお弁当。家族と一緒においしいご飯を食べる子どもたちの表情は、この日一番の笑顔で、会場は和やかな雰囲気に包まれました。



写真上 友だちと協力して頑張る「紅白玉入れ」。絶対に負けれない戦いがそこにはある?  
写真下 親子で一緒に頑張る「大玉ころがし」。子どもたちはみんな笑顔